

基本的な考え方

- 成果を高めていくためには、優先度に応じた選択と集中が求められる。圏域市町が連携すべきとのニーズが高かった項目について検討する。
- 事業終了後(計画期間終了後)も継続して展開できる取組, 効果が持続する取組を優先する。
- 行政のみならず, 戦略会議の団体等民間が主導する施策も展開する。

①-1 人材育成・確保の支援【経済/都市機能】

事業者からのニーズが極めて高い「人材育成・確保」について、創業支援や専門性の磨き上げ、若者や高齢者が力を発揮できる取組などにつながる施策を推進する。

①-2 仕事と家庭との両立【経済/都市機能】

圏域において、女性の活躍推進や若者の地元定着につながる働き方改革の施策を推進する。

② 観光振興による圏域の活性化【経済】

圏域市町のそれぞれの強みを活かす広域観光の推進に、スポーツや花・食などの地域資源の魅力の活用や、施策間の連携を図ることで取り組む(サイクリングルートの設定やオリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ振興など)。

③ 地域公共交通対策【都市機能】

圏域市町と連携し、利用しやすい地域公共交通を計画的に維持できるよう取り組む。

④ 医療連携の充実(地域医療)【都市機能/住民】

広島・岡山両県と協力し、県境を越えた医療連携の充実などに取り組む。また、看護師等の医療関連スタッフ確保に向けて取り組む。

⑤ 地域包括ケアの構築など福祉施策の充実【住民】

高齢者や障がいのある人がいつまでも住みなれた地域で生き生きと暮らすことができるよう、多様な主体と連携し、地域包括ケアシステムの構築や質の高いサービスの提供ができる環境整備を推進する。

⑥ 健康づくりの推進【住民】

生活習慣の改善につながる施策を充実させ、健康寿命の延伸に向けて、広域的に取り組む。